

〒330-0063

さいたま市浦和区高砂3-10-4  
(埼玉建設会館4階)

# 士会だより

社団法人 埼玉県不動産鑑定士協会  
研究広報委員会

TEL 048-838-0483

FAX 048-866-5316

第 102 号

URL=<http://www.sfkk.or.jp>

## 新年度を迎えて



3.11の大震災から、早や1ヶ月が過ぎようとしています。悪夢の2.46は、皆様の誰もが現実体験し、心に深く刻まれたことと思います。

東日本のその後の惨状は、マスコミが報じているとおりです。今は、何よりもまず、お亡くなりになった方々のご冥福を衷心よりお祈り申し上げ、被災されました皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

埼玉県内でも、過去最大の震度と余震ですが、東北の各県とは比較にならない程で、士協会員の皆様のご安全とご健康そして、ご自宅、事務所等の被害が少なく、安堵しているところであります。ただ、皆様のご親族、ご親戚、ご友人、知人で被災された方がいらっしゃるようでしたら、誠に痛ましいことと存じます。

士協会の事業年度は、新年度を迎えました。23年度の会務につきましては、昨年12月の臨時総会で議決していただき、事業計画、予算は万全で、実施の準備は整っております。私の感覚では、3.11以前の事は、遠い昔のことで、新年度の事は正直なところ手つかずの状態です。政府、東電の対応に批判集中の真っ只中、士協会ことさら、当職に対しての皆様への厳しい視線をひしひしと感じているところであります。

士協会は、3月14日に固定資産税評価の納期に関連して士協会としての対応と会員の皆様へのお願いにつきましてのメッセージを発信させていただきました。

そして、3月23日の総会におきまして参加者皆様の意見をいただき、被災地への義援金の拠出を決めさせていただきました。報道を通じての被災地の情報が氾濫している中で、被災者の皆様の気力は頼もしく、復興への強烈な意気込みを感じ、当士協会の義援金が少しでも役立てば幸いと存じています。

23年度の国の予算は参議院で否決され衆議院の議決で成立するなど、政治は混迷しています。バブル経済崩壊以降、経済は不況、不景気の連続で、いつになったら上向くのか、期待感の中での大震災になってしまいました。

昨年度は、それでも固定資産の評価がありました。今後の鑑定需要はどうなるのでしょうか。社会全体として、不要不急なところへの支出は控えるものと思われ、民間鑑定の発注量は減少するものと思われ、公共鑑定については、復興予算となり、公共事業は被災地優先となると思われ、県内の公共鑑定は、またまた、減少するのではないかと考えられます。

士協会としては、すべての会員が一丸となり、パイの維持・拡大に取り組む必要があると思われ、

士協会員の皆様のご健康とご多幸を祈念しつつ、残り少ない任期ではありますが、会の発展に努力して参りたいと思います。

## 平成23・24年度会長、監事決まる

平成23年3月23日（水）に第32回総会がさいたま共済会館に於いて開かれ、会員数148人中出席者24人、書面表決者50人（1人が議案に反対、49人が議案に賛成）、委任状提出者（全員が、会長に委任）26人で総合計100人で総会が有効に成立しました。

役員（会長・監事）選出の議案は、多数が賛成で承認可決され、会長に倉林信夫会員、また、監事に嘉藤良治会員、梅原孝夫会員、石川重郎氏が選任されました。

役員一同更なる士協会運営に努力して参りますので、引き続きご支援・ご協力をお願い申し上げます。

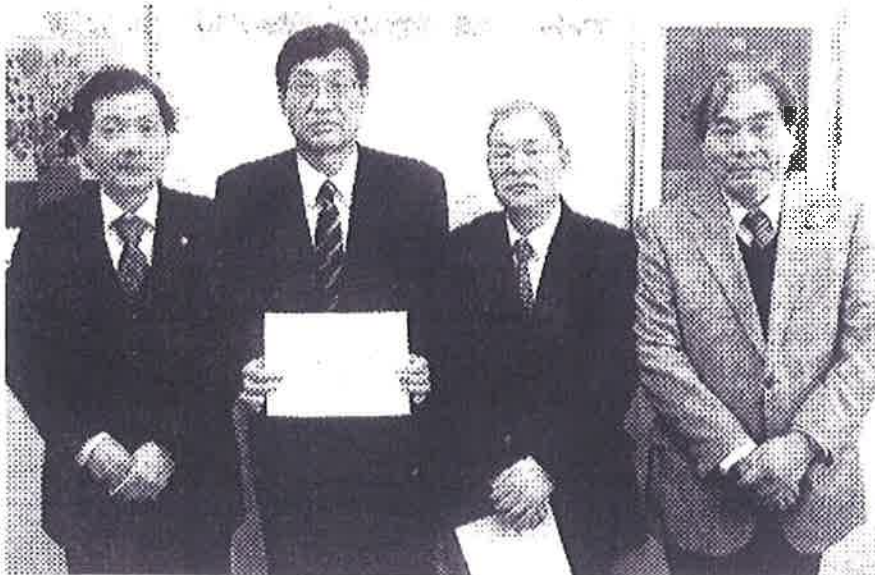


## 東日本大災害義援金を寄託する

3月11日発生した東日本大震災は、未曾有の大災害を起こしました。

当士協会も、当日理事会が予定され開始直前（2：46）に震度5弱の地震がありました。その後激しい余震の中、議題の審議を済ませ、引き続き報告事項は資料に目を通すことで早々終了させました。

公益社団法人を目指す当士協会に於いては、被災者を支援することが必要であると考え3月24日の総会の席、会長の挨拶の中で義援金1,000,000円を寄託したいとの提案に対し総会出席者全員の賛同が得られたことから、会長の専決処分をし平成23年4月1日に執行しました。



高砂（岩崎仁三郎会長、さいたま市浦和区）  
100万円

▼埼玉県不動産鑑定士協会（岩崎仁三郎会長、さいたま市浦和区）  
埼玉新聞・社会福祉事業団

東日本大震災義援金  
まぐろの届け

（埼玉新聞抜粋）

## 研究広報委員会

### 平成23年度春の無料相談会開かれる

下記日程、会場で平成22年度春の無料相談会が開かれました。

無料相談担当 小川 康雄

日 程

平成23年4月2日（土）午前9：30～午後4：30

（実施時間：午前10：00～午後4：00）

会 場

さいたま浦和会場（さいたま市浦和コミュニティーセンター（パルコ10階第6集会室））

川越会場（丸広百貨店川越店（8階バンケットルーム））

会場風景

さいたま浦和会場



川越会場



相談員(敬称略・○印会場責任者)

(浦和会場) 伊勢 秀、伊藤 聡、○植野裕高、宇田陽一、大熊一成、風岡淳一、倉林信夫、栗原 誠、小林 勇、小林正利、小山光男、篠 光昭、鈴木康隆、永井倫博

(川越会場) 阿久津裕志、小川康雄、小原俊彦、黒住明央、○河野栄一、柴田泰邦、堤 史匡、舛原康善、山口和範

ご協力有り難うございました。

相談状況は以下のとおりでした。

①来場者数及び参加相談員数  
(来場者は、延べ人数で記載)

会場	さいたま浦和	川越	合計
来場者	24	22	46
相談員	14	9	23

②来場者の相談内容 (複数回答含)

会場	さいたま浦和	川越	合計
価格	15	16	31
税務	3	4	7
賃借権	5	1	6
有効利用	3	0	3
その他	6	5	11
合計	32	26	58

③無料相談会を何で知りましたか

媒体	さいたま浦和	川越	合計
新聞 (日経、埼玉、朝日)	0	2	2
テレビ・ラジオ (埼玉)	0	0	0
広報紙 (県)	6	2	8
(市・区)	13	14	27
(町・村)	0	1	1
官庁からの紹介	0	1	1
看板・チラシを見て	1	0	1
その他 (土協会ホームページ等)	3	1	4
合計	23	21	44

## 公的土地評価委員会

平成 22 年度は、公的土地評価委員会と致しまして①平成 24 基準年度固定資産標宅の本鑑定業務を各市町村から受託し、固定資産評価員会議を開催しました。また、都県境における評価額の均衡を図るため他都県士協会との連携を図り調整をしたところです。また、②埼玉県から地価調査に関する付帯業務を受託するなど公益社団法人としての公益業務を積極的に展開しました。

固定資産標宅におきましては、全県的な価格バランスがとれた評価額を市町村に提出することが我々不動産鑑定士に求められていることは言うまでもございません。そのため、当士協会では固定資産鑑定評価員会議を主催し積極的に調整作業をしております。

市町村の協力と評価員のご理解・ご協力・ご参加をいただかなければなりませんので、全評価員の参加をお願いいたしました。

## 理事会の議事報告

3月理事会の議題等は以下のとおりです。

### 3月理事会

- (1) 第32回総会役割分担について  
分担案を総員承認。
- (2) 事務局長退職に伴う退職金について  
提案を審議の後、総員賛成承認。
- (3) 事務局職員給与規定の一部改正について  
提案を審議後、総員賛成承認。

報告事項

(1) 第9回理事会議事録について。(2) H23. 2の閲覧利用料について。(3) 士会だより(101号)について。(4) 春の無料相談会について。(5) 「鑑定のひろば」埼玉県特集ゲラ刷りについて。(6) 埼玉友好士業第3回幹事会報告について。(7) 土地評価業務発注要望結果について。(8) 平成24基準年度固定標宅の市区町村別受託地点数報告の結果について。(9) 平成23年役員(会長及び監事)選挙結果について。

## お知らせ 入会

- ◆ 西脇不動産鑑定事務所(業・士)  
代表 西脇 正樹  
和光市丸山台 2-4-18  
ファミリー和光Ⅲ 305  
電話・FAX番号 040-424-5017



- ◆ 宇田 文明会員(士)  
(株)西園不動産鑑定士事務所  
勤務



よろしく申し上げます。

### 登録事項変更

- ◆ 阿久津不動産鑑定事務所  
住所変更 〒356-0006  
ふじみ野市霞ヶ丘 3-3-8  
(平成 23 年 3 月 3 日変更)
- ◆ (株)佐藤アセットプランニング  
住所変更 〒330-0841  
さいたま市大宮区東町 1-170-2  
(平成 23 年 4 月 1 日変更)

## 03月の行事報告

3月中の士協会の行事等については次の通りでしたのでお知らせします。

3月 11日(金) 理事会

3月23日(水) 第32回総会